

令和 5 管理年度（令和 5 年 7 月～令和 6 年 6 月）ずわいがに日本海系群 A 海域 漁獲可能量（TAC）の設定及び配分について（案）

令和 5 年 4 月
水 産 庁

1 TAC（案）

（1）設定の考え方

令和 2 年度に開催された資源管理方針に関する検討会での取りまとめを踏まえ、資源管理基本方針別紙 2-18 に定められた漁獲シナリオで算定された ABC（生物学的漁獲可能量）を TAC とする。

（2）漁獲シナリオに基づく令和 5 管理年度の TAC 算定方法

基本方針別紙 2-18 の漁獲シナリオに基づき、最大持続生産量を達成する漁獲圧力の水準に 0.8 を乗じた値により導かれる ABC を TAC とする。

（3）令和 5 管理年度（令和 5 年 7 月～令和 6 年 6 月）の TAC 案

特定水産資源	TAC
ずわいがに日本海系群 A 海域	3,400 トン

（参考 1）別紙 2-18 の漁獲シナリオ

ずわいがに日本海系群 A 海域

- (1) 目標管理基準値：3 千トン（最大持続生産量を達成するために必要な親魚量）
- (2) 限界管理基準値：1.5 千トン（親魚量の過去最小値）
- (3) 禁漁水準値：0.1 千トン（最大持続生産量の 10% が得られる親魚量）
- (4) 令和 3 年：漁獲可能量 3 千トン
- (5) 令和 4 年から令和 12 年まで：漁獲シナリオに用いる安全係数（ β ）：0.8

（参考 2）ずわいがに日本海系群 A 海域 TAC の推移

単位：トン

系群（海域）	R5 年 （案）	R4 年 （2022 年）	R3 年 （2021 年）	R2 年 （2020 年）	R1 年 （2019 年）
日本海系群 A 海域	3,400	2,800	3,000	3,400	3,200 (2,800)

※括弧内は改定前の数字（期中改定があった場合）

(参考3) ずわいがに日本海系群A海域の漁獲実績

単位：トン

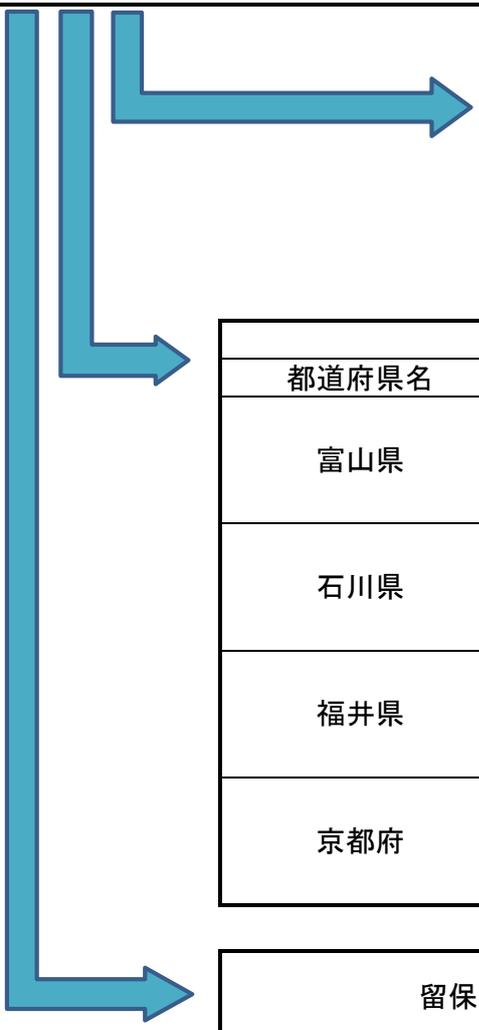
系群（海域）	R3年 (2021年)	R2年 (2020年)	R1年 (2019年)	H30年 (2018年)	H29年 (2017年)
日本海系群A海域	1,769	2,143	2,363	2,805	2,615

2 配分（案）

- (1) TACの7パーセントを国の留保とする。なお、留保には、国際交渉において必要となる数量を含めるものとする。
- (2) 過去3か年（平成29年から令和元年まで）の漁獲実績の比率に基づいて、大臣管理区分及び都道府県別に配分する。
- (3) 配分量は別紙のとおり。
- (4) 不足が生じた場合は留保から配分する。

令和5管理年度ずわいがに日本海系群A海域
漁獲可能量(TAC)の設定及び配分について

特定水産資源	TAC(トン)
ずわいがに日本海系群A海域	3,400



大臣管理分	
大臣管理区分	数量(トン)
沖合底びき網漁業及び ずわいがに漁業	2,546

知事管理分		
都道府県名	数量(トン)	注記
富山県	38	
石川県	318	
福井県	220	
京都府	39	

留保(トン)	239
--------	-----